



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1710号

事務所 静岡県三島市大社町17-4  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル  
TEL(055)972-2122  
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

## 第1772回例会

2008.12.11晴

### 司会

森崎祐治君

### ロータリーソング

「我等の生業」  
指揮 佐々木雅浩君

### 会長挨拶

会長 亥角裕巳君

皆様こんにちは。本日は夜間例会で、このあと親睦委員会に引き継ぎ親睦例会になります。よろしくおねがいします。

本日より台湾苗栗東南RC創立10周年記念式典への参加、友好クラブの再締結および苗栗RC交換中学生研修事業の派遣先打ち合わせに行ってきます。

前回申しましたが、交換中学生スケジュールの中で一つのテーマを提案し、可能であればお互いにディスカッションを通じて相互理解を深めてもらいたいと思います。テーマは『地球環境について考えよう。(自分たちができる環境対策)』を考えています。交換事業は受け入れ側がおもに企画することになっていますが、意見交換が実現できることを望みます。

前にも話しましたが、環境問題の中でも食糧問題も身近で大きなテーマです。

日本の食料自給率が40%を切る状況の中、廃棄する食品関連廃棄物が穀物輸入量に匹敵し、家庭での食料廃棄率は30%を超えるという現実です。

例えばロータリーの会合に欠席届を出すだけで、例会に用意される食事を捨てないですむ。結果、貴重な食料が生かされ廃棄に伴う人的エネルギー、運搬エネルギー、焼却のためのエネルギーおよび燃焼CO2ガス削減に貢献できます。人類史の中で、この50年の地球環境は大幅に破壊され異常気象はじめさまざまな弊害が生じ

ています。さらにこの先50年のシミュレーションは生存の危機さえ感じます。未来のある日本・台湾の中学生にとって、また我々ロータリアンにとっても身近で取り組むべき環境問題について、まじめに考える機会になればと思います提案いたしました。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	44/51	86.27%	46/51	90.20%
今回	36/49	73.47%	会員総数	54名

欠席者 荒川君、石井(彰)君、鈴木(貞)君、鈴木(雅)君、諏訪部(照)君、諏訪部(敏)君、平出君、古川君、矢岸君、柳田君  
(石井(良)君、鈴木(敏)君、米山君)

### 幹事報告

幹事 井上幸子君

- ①本日は親睦例会です。
- ②台湾苗栗東南RC10周年記念式典参加者は本日出発いたします。
- ③次週はクラブ協議会です。上半期委員会報告を各委員長にお願いいたします。
- ④12月9日(火)第3回会長・幹事会及び「会員増強のための情報交換会」が開催されました。牧田ガバナーご出席のもと、各クラブの意見交換等が行われました。
- ⑤12月25日(木)クリスマス家族例会及び1月13日(火)四クラブ合同新年会の出欠席をご確認ください。

[次年度幹事報告]

- ①12月4日例会終了後、次年度第1回理事会を開催し、会場監督に森崎祐治さんが決定しましたので報告します。

2008～2009年度  
国際ロータリー会長  
李 東建(D.K.Lee)

夢をかたちに

## おめでとう

会員誕生日 千葉君、飯田君、亥角君、佐々木君  
入会記念日 土屋君、瀬川君、野口君  
奥様誕生日 岩崎君  
ご主人誕生日 井上君  
結婚記念日 遠藤(真)君、井上君、花房君、  
関本(照)君、鈴木(郁)君



次年度ガバナー補佐委嘱状伝達

## スマイルボックス

- ◆ 渡辺君、佐々木さん、あなたの機敏な運転さばきで難を逃れることができました。周囲が見えなくなりました。私の近くに寄らないで!
- ◆ Aテーブル、有意義なお話や楽しいお話で盛り上がりました。残金3000円スマイルさせていただきます。
- ◆ Cテーブル、12月4日にテーブル会を行いました。楽しい時間を過ごす事ができました。残金をスマイルします。
- ◆ 原君、千葉さん、有難うございました。

## 理事会

- ① 鈴木敏夫会員退会承認(12月31日付)  
石井良衛会員休会承認(12月4日～3月31日)
- ② 次年度理事・役員承認

## “今月の花” もちの木の実

「食の安全」について

生きた農薬=昆虫や微生物を使って野菜や果物の  
病害虫を駆除する栽培方法

～日本植物防疫協会～

## ROTARY WORLD

### ロータリー世界各地から

予防接種の提唱でインドのポリオ撲滅活動が実を結ぶ

インド北部のウッタルプラデシ州ではポリオとの闘いが大きな成果をみせています。このまま前進し続けることができれば、「世界的なポリオウイルスのメッカ」の汚名を返上できる日もそう遠くはないでしょう。2007年にインドで発生したポリオ症例864件のうちの40パーセント近くが、インドで最も人口の多いウッタルプラデシ州で発生しています。これは、世界の全症例の4分の1に相当するものです。また、その年に同州で発生した339件の症例のうち、イスラム教徒の居住地での発生率は80パーセントを占めていましたが、ロータリーの主導する活動によって、2008年4月中旬には、発生件数を全48件中の16パーセントまでに抑えることができました。州内でポリオ撲滅活動を監督しているのは、2007年に国際ロータリーが設立したポリオ撲滅のためのウラマー委員会です(ウラマーは、イスラム法の専門家でイスラム教における指導者的存在)。同委員会は、ポリオの予防接種を、コーランで説かれている親の義務として訴える冊子をイスラム教聖職者や各宗派代表者に配りました。この冊子は、インドのポリオ・プラス委員会が発行したものです。さらに同委員会のメンバーは、ポリオ予防接種が安全で、イスラム教の教えに反するものではないことを親たちに説いて回りました。「抵抗する理由の背景を理解しようと、ロータリーも私たちといっしょにスラム街を回ってくれました」と話すのは、ウッタルプラデシ州で保健大臣を務めるニタ・チョウドリー氏です。「ロータリーがこの仕事を成し得るのは、ロータリアンの行動力が人々の信頼を呼ぶからです」

(週報担当:瀬川幸信)